

“ぬばたま貝” 養殖実験スタート

東播磨の水辺を守る活動『いなみ野ため池ミュージアム』では、水辺環境の保全・再生をめざす取り組みの一環として、寺田池の水辺を活用した「ぬばたま貝による水質浄化」、「ぬばたま貝の養殖実験」を地域の多様な参画のもとに取り組みを始めています。

実験水槽設置作業の状況



ぬばたま貝：正式名称はドブ貝という。ドブの中にいるからドブ貝ではなく、むしろ澄んだ池の中で見られることが多い。

「黒い」にかかる枕詞として「ぬばたま」という言葉が万葉集で使われ、ヒオウギの黒い実のことを「ぬばたま」とも言うことから、東播磨では、ドブ貝を「ぬばたま貝」という愛称で呼んでいる。

**水辺環境を守り、活用する取り組みです
温かく見守ってください！！**

参加団体

寺田池協議会、兵庫大学・ため池研究所、県立農業高校、
加古川市ため池協議会連絡会、いなみ野ため池ミュージアム運営協議会、
いなみ野パールプロジェクト推進実行委員会

